

取扱いの趣旨

有床義歯床下粘膜調整処置は、有床義歯の刺激等によって有床義歯床下の顎堤粘膜が異常を来している状態に行われる処置であり、算定にあたっては、有床義歯床下粘膜の異常を示す傷病名の記載が適切であることから、「義歯ハセツ」病名で当該処置の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】 《令和3年2月22日》

129 有床義歯床下粘膜調整処置②

○ 取扱い

原則として、「義歯ハセツ」病名で、有床義歯床下粘膜調整処置の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

有床義歯床下粘膜調整処置は、有床義歯の刺激等によって有床義歯床下の顎堤粘膜が異常を来している状態に行われる処置であり、算定にあたっては、有床義歯床下粘膜の異常を示す傷病名の記載が適切である。

グラフの見方

検証不要(少数事例)

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

有床義歯床下粘膜調整処置を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（義歯ハセツに対して有床義歯床下粘膜調整処置を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、有床義歯床下粘膜調整処置が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

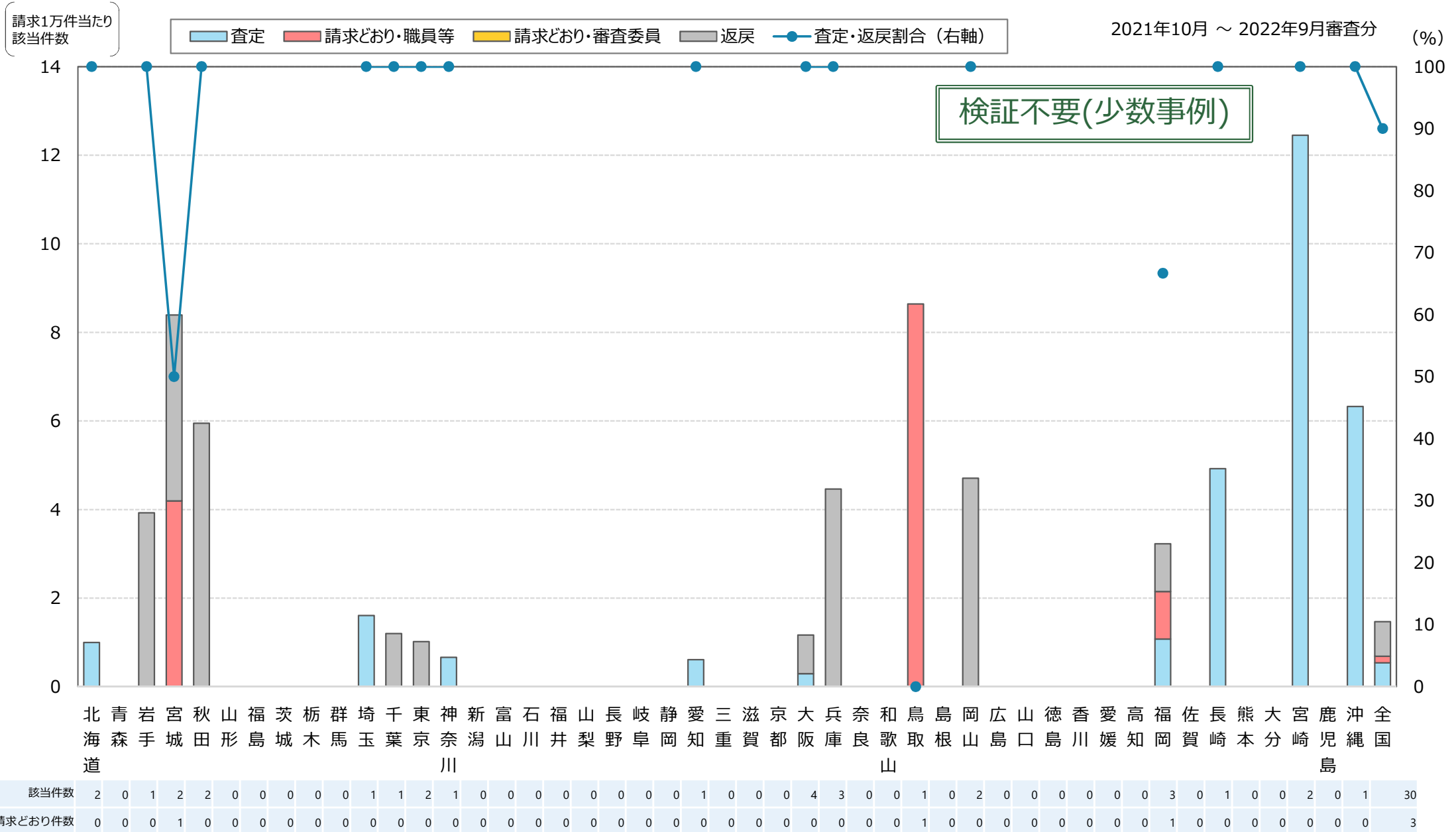
- 全国の査定・返戻割合 90.00%
- 検証を必要とする都道府県 0

検証観点	検証を要する都道府県	備考
査定・返戻割合が低い都道府県		査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員等		対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員		//

該当件数（全国）	義歯ハセツに対して有床義歯床下粘膜調整処置を算定	30件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	27件
検証を必要とする審査	請求どおり	3件

事例129 「義歯ハセツ」に対する有床義歯床下粘膜調整処置の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 義歯ハセツに対して有床義歯床下粘膜調整処置を算定しているレセプト件数